
	<h2 style="margin: 0;">大泉橋戸公園の田んぼで 待望の稲刈り！</h2> <h3 style="margin: 0;">～昔の風景を復元した「橋戸田んぼ」で小学生が収穫体験～</h3>
<p style="text-align: center;">と き</p>	<p style="text-align: center;">平成28年10月11日(火) 午前10時40分～12時20分 大泉北小学校 午後1時20分～3時 橋戸小学校 平成28年10月12日(水) 午前8時40分～10時20分 大泉第一小学校</p>
<p style="text-align: center;">ところ</p>	<p style="text-align: center;">練馬区立大泉橋戸公園（練馬区大泉町2-9-34）</p>
<p>11日、練馬区立大泉橋戸公園（練馬区大泉町2丁目）内の水田で、近隣の大泉北小学校、橋戸小学校の5年生の児童168人が、6月に植えた稲の収穫を体験した。田んぼは、「橋戸田んぼ」として親しまれた地域の田園風景の復元を望んだ周辺の小学校や地域団体の強い要望を受けて区が整備したもので、管理運営は、地域団体の「橋戸水田自主管理会」が行っている。児童らは、管理会の方から説明を受けた後、鎌を手にして、稲刈りを体験した。収穫した稲は、脱穀および精米した上で、調理実習や収穫祭で味わう予定。なお、12日には大泉第一小学校の児童が稲刈りを体験する。</p> <div style="float: right; text-align: center;">  <p>【稲刈りをする橋戸小の児童】</p> </div>	

【橋戸田んぼの稲作風景を 小学生が再現！】

練馬区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で行われていたものを復元整備したもので、水田面積は230㎡で6枚の田んぼに分かれている。平成24年度から周辺の大泉第一小、大泉北小、橋戸小の児童が毎年稲作体験を行っており、同校の児童らは今年6月に田植えを体験している。

11日（火）に、大泉北小112人、橋戸小56人（いずれも5年生）が、稲刈りを体験した。

子供たちは管理会の方から説明を受けた後、鎌を手にして田んぼに入り、見事に黄金色に実った稲の収穫を体験した。稲刈り体験を行った子供たちは「思ったよりも簡単に刈り取れた」「もっとやりたい」「稲の束が思ったより重かった」などと話していた。

また、田植え以降、除草、防鳥ネット張り、毎日の水量調整をしてきた橋戸水田自主管理会の篠崎会長は、「今年は猛暑で水不足であったため、水量調整に注意をしました。例年と比べ穂が出るのが遅かったけれど、去年より豊作でした。稲刈りしている時の子供たちの笑顔に苦労も吹き飛ばしますね。」と話してくれた。

12日（水）には大泉第一小の5年生が稲刈りを体験する予定。



【稲刈りをする橋戸小の児童】



【刈った稲を運ぶ橋戸小の児童】

【田んぼの生き物たち】

子供たちは、手慣れた様子で作業を進めながら、田んぼの生き物たちに関心が行く様子だった。「バッタがたくさんいた」「大きなカエルをつかまえた」と様々な生き物を手に、寄り集まっていた。管理会の芹沢功さんは、「カエルは年々増えている。カマキリもたくさんいる。田んぼの環境が整ってきているんでしょうね」と、実感を語ってくれた。